

# み ち し る べ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



7月臨時会  
9月定例会

◆事業成果や執行状況をチェック!  
令和6年度の決算を認定 P2

◆重点支援地方交付金を活用した  
物価高騰対策 補正予算を審査 P8

◆一般質問  
市政のここが聞きたい P12

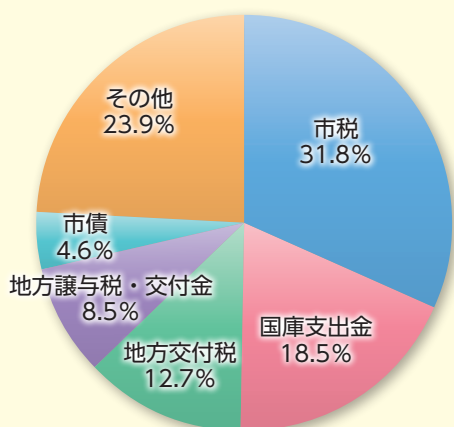
▲サトイモ掘るぞ♪  
うんとこしょ!どっこいしょ!



# 令和6年度の決算を認定

すべての世代が将来に希望を持てる 持続可能なまちづくりを推進

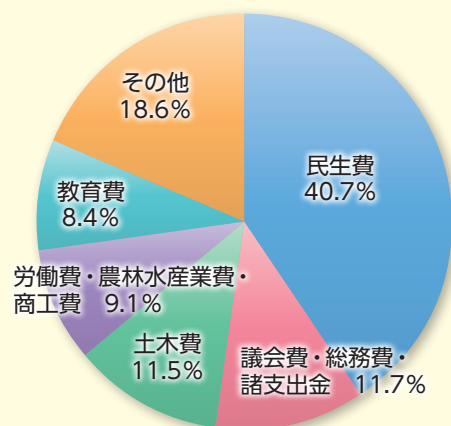
**一般会計歳入**  
1,142億5,306万円



- ①市税 ..... 363億1,326万円  
個人・法人市民税、固定資産税などの税収入
- ②国庫支出金 ..... 211億2,665万円  
自治体が行う特定の事業経費の全部または一部に対して国が支出するお金
- ③地方交付税 ..... 145億7,040万円  
市町村の財政力に応じて国から交付されるお金
- ④地方譲与税・交付金 ..... 97億7,186万円  
国や県が徴収し、一定割合で市に交付される、本来地方税となるべきお金
- ⑤市債 ..... 52億630万円  
長期間使われる公共施設を整備するための借入金  
(地方交付税の肩代わりである臨時財政対策債を含む)
- ⑥その他 ..... 272億6,459万円  
県支出金、諸収入、繰越金、使用料及び手数料など

- ①民生費 ..... 452億7,108万円  
子育て支援、障がい者・高齢者の福祉、医療給付などの経費
- ②議会費・総務費・諸支出金 ..... 130億4,277万円  
議会の運営、広報、文化・スポーツ振興などの経費
- ③土木費 ..... 128億40万円  
公園や道路・街路の整備、市営住宅の管理などの経費
- ④労働費・農林水産業費・商工費 ..... 101億3,621万円  
勤労者福祉対策、農業振興、観光振興などの経費
- ⑤教育費 ..... 93億5,963万円  
教育の充実、ICT環境の整備、学校の改修、生涯学習などの経費
- ⑥その他 ..... 206億2,003万円  
衛生費、消防費、災害復旧費、公債費

**一般会計歳出**  
1,112億3,012万円



# 事業成果や執行状況をチェック!

## 「健康医療先進都市」と「文化創造都市」の2大ビジョンのもと、



▲スムーズな情報共有でより迅速で的確な救急搬送へ

**委員** ふるさと納税寄附金は、当初予算で20億円を計上し、年度の途中で増額補正することが続いているが、令和6年度の歳入額は約47億円となり、当初の見込みを大きく超えている。年度当初から事業を行うことができるように、予算計上額を見直してはどうか。

**財政部長** ポイント付与の禁

国や県からの支出金や市税などを市の歳入（収入）としました。

歳入  
1142億5306万円

決算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

**委員** 各医療機関のシステムへの対応の差などの課題に、どのように対応していくのか。

**救急救命課長** 各医療機関と消防本部の救急隊員全員にアンケート調査を行う予定であり、実際の声を聞きながらシステムの強化に努めていく。

救急現場の情報をリアルタイムで医療機関と共有し、救急業務を効率化しました。

救急医療情報共有システム導入事業 2303万円

**市民税課長** 全国の自治体からの減収見込額の報告に応じて交付金の総額が按分されているため、結果として、実際の減収額に4%程度上乗せされた額が交付されている。

**委員** 国から交付された定額減税減収補填特別交付金で、市民税の減収分を補填することはできているのか。

止などの制度変更があることや、天候不順などの影響を受ける可能性のある農産物の返礼品が多いことから、**実性が高い見込額を計上**しているが、他市の状況なども調査していく。

### 健全化判断比率・資金不足比率および市債残高

健全化判断比率・資金不足比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき公表される、地方公共団体の財政の健全度を判断するための指標です。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を早期健全化基準と比較することで財政の健全度を判断します。また、特別会計、企業会計の場合は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。いずれの指標も基準を下回っているため、本市の財政は健全と言えます。また、参考として、各会計の市債（山形市の借入金）の残高も併せて表示しています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
山形市	なし	なし	7.8%	87.3%
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

※実質収支および連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率および連結実質赤字比率はありません。

		資金不足比率	経営健全化基準	市債および企業債残高(令和6年度末現在)
特別会計	一般会計			1,052億4,048万円
	介護保険事業会計			
	区画整理事業会計			3,630万円
	駐車場事業会計			9,282万円
企業会計	公設地方卸売市場事業会計	なし	20.0%	2億551万円
	水道事業会計	なし		142億8,566万円
	公共下水道事業会計	なし		694億5,912万円
	農業集落排水事業会計	なし		4億292万円
	市立病院済生館事業会計	なし		8億3,774万円
合計				1,905億6,055万円

※いずれの会計も資金不足額は生じていないため、資金不足比率はありません。  
※区画整理事業会計は令和6年度をもって廃止され、残高は一般会計に移行しました。

**広報事業**  
1億3187万円

広報やまがたの発行やインターネット、テレビ、ラジオでの市政情報の提供を行いました。

**委員** 情報発信を行っている媒体ごとの視聴状況は把握しているのか。

**広報課長** SNSの閲覧履歴などは確認しているが、テレビなどでの視聴状況を調べる手法は検討していく。現在、SNSでは市公式LINEを中心に広報を行っているが、時代の変化に伴い、市民が必

要とするアプリも変化することから、ほかのアプリの導入も検討していく。

**市民会館整備事業**  
877万円

整備を行う事業者を公募型プロポーザル方式で選定し、基本設計を実施しました。

**委員** デザインの公表後、芸術団体などの関係者へ説明を行い、要望を踏まえて基本設計を行ったとのことだが、その後の反応はどうか。

**新市民会館整備室長** 発表当初は、周辺とのデザイン



▲文化芸術活動の新たな拠点となる新市民会館整備予定地

の調和への意見もあったが、29団体48人にヒアリングを行った結果、利用者団体などからはそのような意見は聞かなくなっている。

**委員** 事業費を令和7年度に繰り越しているが、事業の進展に遅れは生じていないのか。  
**新市民会館整備室長** 繰越事業は令和7年4月30日で完了している。遅れが生じないように、

作業の一部は前倒しで実施しており、現時点で11年7月の開業予定に変更はない。

**コミュニティサイクル運営事業** 1725万円

中心市街地を核とした移動環境の向上と、脱炭素型のライフスタイルへの転換を図るため、コミュニティサイクルを運営しました。

**委員** 利用料収入の状況はどうか。また、利用料金の見直しの予定はあるのか。

**公共交通課長** 令和6年度の収入は約1490万円であった。自転車が老朽化した際の維持管理費の課題なども勘案し、現在、利用料金の見直しの検討を進めている。

**やまがた de 愛支援事業**  
75万円

婚活イベントを開催している市民活動団体への補助や、ボランティア仲間を中心に実施する結婚相談会への支援を行いました。

**委員** 令和6年度は結婚相談



▲結婚を望む人へ、出会いを支援

会を23回開催したとのことだが、若者の出会いの場を増やすため、事業をさらに拡充しはどうか。

**公民連携室長** ボランティア仲間と協議を行うほか、県が運営しているマッチングシステムの周知などを通じて、出合いの場の創出に努めていく。

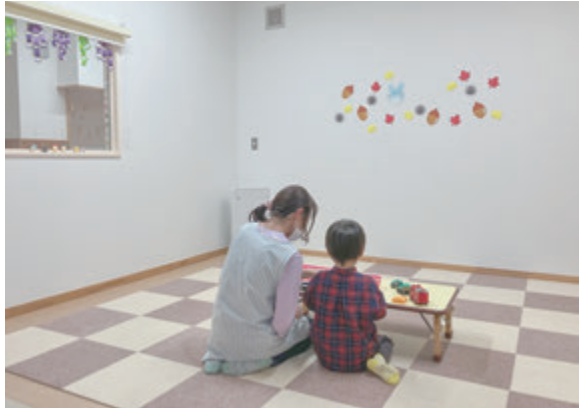
**運転免許証自主返納者タクシードライバー交付事業**  
972万円

運転免許証を自主返納した70歳以上の方にタクシードライバー交付しました。

**委員** 令和6年度の実績は、

交付人数が734人、1枚500円のタクシードライバー券の使用枚数は1万9041枚であり、利用率は約65%となっている。現在は、本事業と、交通系ICカードを活用してバスの3か月定期券を交付する高齢者外出支援事業との選択制となっているが、利用者の利便性向上のため、交通系ICカードを活用して2つの事業を共通化して実施してはどうか。

**長寿支援課長** 交通系ICカードを用いた共通利用のためには、すべてのタクシードライバーにICカードリーダーを搭載する必要が生じるなどの課題もあるため、7年度に地域公共交通計画の見直しを行う中で検討していく。



▲山形連携中枢都市圏で取り組む病児・病後児保育

ひきこもり生活者支援事業  
1857万円

相談支援体制の強化のため、ひきこもり相談支援員を配置したほか、つながりよりそいチャットの運用を開始しました。

**委員** つながりよりそいチャットを活用することでのような支援を目指しているのか。  
**地域共生社会課長** 傾聴を望む人への対応に活用しており、問題解決を望む人には、必要に応じて専門職のデジタルソーシャルワーカーへつなげる相談体制としている。

がん検診推進事業  
1135万円

特定の年齢に達した人へ、子宮頸がん・乳がん・前立腺がん検診の無料クーポンを交付しました。

**委員** 子宮頸がん検診と乳がん検診の無料クーポン対象者の受診率が低い、受診率向上に向けた取り組みはどうか。  
**健康増進課長** 無料クーポンが受診のきっかけとなるように、特に若い女性を対象に、検診の重要性や必要性をSNSを活用して啓発していく。

病児・病後児保育事業  
5923万円

病気の回復期に至っていない児童や回復期の児童を保育しました。

**委員** 市内施設の令和6年度の山形連携中枢都市圏内各市町の利用内訳はどうか。  
**保育育成課長** 山形市が909人、東根市が

27人、天童市が21人、山辺町が18人、上山市が13人、中山町が5人、寒河江市が4人、河北町が2人、村山市が1人となっている。

こども家庭センター設置・運営事業  
558万円

切れ目のない支援を実施するため、包括的な相談支援を行うこども家庭センターを運営しました。

**委員** 設置のメリットや運営での課題はどうか。  
**こども家庭センター所長** 早期支援が必要な人などを支援につなげることができているが、相談件数の増加への対応が課題であり、件数が多い学校からの受付方法を統一化するなどの改善を図っている。

市民農園運営事業  
44万円

生産と消費に対する理解の増進を図るため、農家が開設した農園を山形市市民農園として登録しました。

**委員** 令和6年度の農園数が

5年度と比較して減少している要因はなにか。また、市民の需要に対応して充足できているのか。

**農政課長** 土地所有者が宅地とするために土地を売却したことで、2農園減少したが、7年度は1農園増え、現在7農園となっている。

市民農園は人気があり、要望もあるため、農家から話を聞きながら、農地を活用できる場合には積極的に増やしていきたい。

おうとう受粉蜂導入拡大事業  
167万円

高品質化と安定生産を図るため、受粉用蜜蜂の導入へ助成を行いました。

**委員** 令和6年度は蜂が動かずに結果が出なかったとのことだが、今後の対策はどうか。  
**農政課長** 県を中心とした会議の中で、短期的に取り組める課題と中長期的な課題との整理が行われており、今後は、県と連携して対策を講じていく。

ふるさと納税推進事業  
21億1569万円

返礼品として魅力的な特産物を贈ることで、特産品のPRや地場産業の振興を図り、財源を確保しました。

**委員** 令和6年度は約47億円の寄附があったとのことだが、主な返礼品であるさくらんぼの不作の影響はどうか。  
**ブランド戦略課長** さくらんぼには約6万2000件の申し込みがあり、うち約5300件が代替品での対応、約4600件が次年度での対応となった。



▲農業に触れ、楽しむ場として人気の市民農園

日本一の観光案内推進事業  
5781万円

施設整備の指針となる基本構想を策定するとともに、観光DXの仕組みやシステムなどの調査研究を行いました。

**委員** 移動式観光案内所として導入した車両の詳細はどうか。

**日本一の観光案内所整備室長**  
日本一の観光案内所のオープンに先行し、市内外のイベントなどへ出向き、より機動的に積極的な情報発信や観光PRを行うための車両である。



▲観光プロモーションカーで市の魅力をPR

学校給食センター運営管理事業  
7億6725万円

地産地消の推進を図りながら、市立小・中学校へ1日最大2万2000食の給食を提供しました。

**委員** 令和6年度の市産野菜・果物・米の使用割合は金額ベースで70%であったとのことだが、米不足の影響はなかったのか。

**学校給食センター所長** 学校給食用の新米は、毎年11月に山形県学校給食会と契約を結んでいるため、大きな影響は受けなかった。

退職教員の活用等による個に応じた学習支援事業  
251万円

学力向上、不登校対応などのため、専門的な知見を持つ退職教員を学力向上支援員として配置しました。

**委員** 令和6年度は、学力向上支援員を7校

に1人ずつ配置したとのことだが、複式学級や小規模校では、教員の数に足りずに苦慮しているとの声がある。学校現場から増員などの要望はないのか。

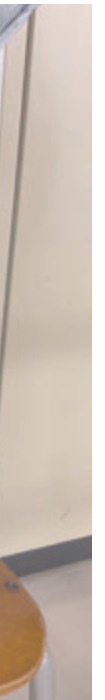
**学校教育課長** 各学校から配置の要望もあるため、学校の意見を十分に聞き取りながら検討していく。

塵芥収集業務  
7億1690万円

一般家庭ごみの収集運搬業務の委託などを行いました。

**委員** リチウムイオン電池の処分方法が分からず、分別が徹底されないことが原因となり、ごみ処理施設や収集車の発火・発煙事故が全国的に発生しているが、本市での発生状況はどうか。

**循環型社会推進課長** 立谷川リサイクルセンターでの電池類が要因と考えられる発火・発煙は、令和6年度に284件発生している。市公式LINEやごみ分別アプリ「さんあーる」などを活用し、リチウムイオン電池の正しい処分方法の周知に努めていく。



▲正しく分別して発火・発煙事故防止

中心市街地歩行者空間創出等事業  
2481万円

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりの実現に向けて、道路空間などを活用した社会実験を実施しました。

**委員** これまでの事業の実施状況と今後の展望はどうか。

**まちづくり政策課長** 中心市街地での歩行者空間の創出に向けたさまざまな社会実験を行っており、民間での自走化を目指して取り組んできました。また、都市計画道路の整備が進むことで交通分散が図られ、

ウォーカーブルに向けたさらなる取り組みが可能になると考えており、民間での取り組みの担い手の育成も行いながら、事業を進めていきたい。

さくら並木更新事業  
386万円

市道馬見ヶ崎線のさくら並木の保全のため、樹木の植替工事を行いました。

**委員** 事業の進展状況と事業完了に向けた見通しはどうか。

**道路維持課長** 毎年6本ずつ植え替えを行っており、事業完了は令和46年頃の見通しとなっている。

\* ウォーカーブル…「walk (歩く)」と「able (できる)」を組み合わせた造語。居心地がよく歩きたくすることを意味する。



▲安全・安心な水道を目指して水道管を更新

また、企業債の借り換えは行っているのか。上下水道部長 水道事業と下水道事業を統合した際には1000億円以上あった企業債の未償還残高を、694億円程度まで償還しており、今後も減債積立金などを活用することで減少させていきたい。なお、現在最も高い利率の未償還残高の借り換えを試算したが、メリットが無いので、借り換えは行っていない。

**委員** 法定耐用年数を超過した管路延長の割合を示す管路経年化率が2割を超えている

**委員** 資本的支出に占める企業債償還金の割合が高いことをどのように考えているのか。

水道事業会計

公共下水道事業会計

病院事業会計

**委員** 診療報酬改定に向けた国への要望などどのような取り組みをしているのか。

**済生館管理課長** 全国自治体病院協議会や全国市長会を通しての要望のほか、山形市重要事業要望として、診療報酬の改定を行うように国へ要望している。

が、管路の更新や耐震化に向けた考えはどうか。

**水道建設課長** 法定耐用年数を超過した管路は、令和6年度末現在で20・9%となっており、5年度末の全国平均である25・37%よりも低くなっているが、水道事業アセットマネジメントに基づき、漏水の発生状況などを考慮しながら、計画的に更新していきたい。

## 令和6年度 決算監査意見書要旨

一般・特別

一般会計の歳入では、前年度に比べ地方交付税、地方特別交付金などが増加し、市債、繰越金などが減少している。市税収入の動向を見ると、定額減税での個人市民税の減収の影響を除けば全体として増加傾向が見られるが、ふるさと納税、広告収入のほか、さまざまな財産の貸付・売却などの取り組みも一層推進され、積極的な財源の確保に努められたい。

一方、歳出では、前年度に比べ民生費、土木費などが増

加し、商工費、総務費などが減少している。今後も、行政需要の増加や物価高騰などでの費用の増加も見込まれるため、将来にわたり持続的発展が可能な財政運営を行っていくために、長期的な視野に立った効果的かつ効率的な行政運営を推進されたい。

特別会計では、歳入歳出とも、国民健康保険事業会計、区画整理事業会計で減少し、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計、駐車場事業会計などで増加した。

水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べポイント数の増減はあるものの、大きな変動は見られない。有収水量の減少傾向が続いており、給水人口の減少などから、これからも水需要の減少での給水収益の減少傾向は続くことが見込まれるとともに、物価高騰、人件費の上昇などの影響での給水原価や建設改良事業費などのコストの増加も見込まれる。

将来にわたり、事業の健全経営と安定した水道サービスを維持するため、適正な水道料金の検証を行い、持続可能な経営のために必要となる料金水準の検討に取り組みされたい。

公共下水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率に大きな変動はないが、企業債に依存する割合が比較的高いことがうかがえる。

下水道使用料は、有収水量の減少傾向が続いており、処理区域内人口の減少などから、これからも、水需要の減少での下水道使用料の減少傾向は続くことが見込まれる。

長期的視点に立った計画的な事業実施や財政計画との整合・調整を図りながら、将来にわたって安定した下水道サービスが提供できるように、経営基盤の強化を推進されたい。

農業集落排水

財政状態を示す経営分析に係る諸比率を見ると、企業債の償還が進み企業債に依存している割合が比較的低いことがうかがえる。

近年、施設の修繕や設備更新など維持管理に要する経費が増加してきているが、平成10年以降は施設利用料の改定は行われておらず、今後の使用料収入の増収は難しく、農業集落排水事業の経営は厳しい状況が続いていくものと思われる。

中長期的な視点に立ち、適正な使用料の検討も含め、将来を見据えた効率的な施設の維持管理に取り組みされたい。

済生館

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べ僅かに悪化したものも見受けられるが、全国平均と比べ良い数値となっている。済生館は、地域の医療機関との積極的な連携に努めてきており、地域の診療所や病院からも高い信頼と安心感を得てきたところである。

今後は新病院整備に向けた取り組みが一層推進されることとなるため、経営強化プランに基づき持続可能な医療提供体制を確立されるとともに、経営の改善を図りながら、引き続き市民から信頼される病院運営に当たられたい。

重点支援地方交付金を活用した  
物価高騰対策などの補正予算を審査

補正予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

放課後児童クラブおやつ代  
支援給付金支給事業  
408万円

委員 放課後児童クラブへお  
保護者の負担軽減を図るため、給付金を増額します。

委員 放課後児童クラブへお

やつ代として給付する金額の算定根拠はどうか。

子ども未来課長 令和6年4月から10月までの食料の消費者物価指数の上昇率である2・98%を見込んで当初予算に計上していたが、6年4月から7年5月までの上昇率が7・32%であったことから、差し引いた値である4・34%を、令和7年度の市内の放課後児童クラブのおやつ代の平均月額である1700円に乘じて算定している。

9月の主な補正予算  
一般会計 23億3,097万円

- <主なもの> (千円以下切り捨て)
- 道路維持補修事業 ..... 1億3,000万円
  - 小中学校タブレット運用事業 ..... 1億254万円
  - 学校給食費負担軽減事業 ..... 8,526万円
  - 福祉暖房費給付事業 ..... 8,111万円
  - 市有施設太陽光発電設備導入事業 ..... 5,791万円
  - 介護保険サービス事業所等食材費支援給付金給付事業 ..... 5,058万円
  - 道路ストック修繕事業 ..... 5,000万円

学校給食費負担軽減事業  
8526万円

委員 当初予算での見込みからどの程度高騰しているのか。  
学校給食センター所長 賄材料費は、消費者物価指数の上昇率を参考に、当初予算では2・98%増と見込んでいたが、令和7年5月の比較上昇率で7・32%上昇しており、差額分を予算化している。米飯提供業務委託料は、6年4月から10月と、6年11月から7年5月の平均価格を比較すると50%増となっており、増加分を積算して予算化している。

市有施設太陽光発電設備  
導入事業  
5791万円

委員 設置場所の詳細と売電  
国の交付金を活用して、国際交流プラザへ太陽光発電設備を導入します。

収入の取り扱いはどうか。

環境課長 展示棟の屋根へ設置し、発電した電力の大部分は自家消費になると想定している。なお、余剰電力を売電して得られる収入は、市の歳入とする想定である。

建設技師養成奨学金  
制度運用事業  
2026万円

委員 奨学金の受給者が建設技師として県内の事業所などへ就職し、3年間働いた場合には償還が免除されるとのことだが、設定した期間の根拠はどうか。  
建設契約課長 建設業界の新卒離職率の全国的な統計調査や、資格取得に必要な実務経験期間などを踏まえて、建設技師として定着するまでに必要な期間を3年と考え、設定したものである。



▲有識者からの評価も高い旧吉池医院

委員 建物に対する評価が高いとのことだが、取得後の管理や運営の方向性は検討しているのか。  
文化創造都市課長 今後、文化財登録に向けた手続きを行う予定であり、旧千歳館も参考に、令和8年以降に活用方法を検討する予定である。

委員 用地取得に必要な経費の限度額を設定します。

委員 旧吉池医院保存活用事業の債務負担行為限度額 事業用地約1400m<sup>2</sup>を取得した金額に利子等を加えた額

総務 厚生  
産業文教 環境建設

# 委員会を開催しました (7月臨時会 産業文教委員会) (9月定例会 各常任委員会)



▲災害時にはすぐに設置・使用可能なトイレ

**委員** 今回購入する82台のトイレを、27カ所の防災支部にどのよう  
に配備するのか。  
**防災対策課長** 各防災支部に3台ずつの配備を基本とするが、避難者の想定収容人数などに応じて調整する予定である。

(9月定例会)  
災害用組立トラック型自動ラップ式トイレを購入

**委員** 2つの契約の落札率が99・83%や98・21%と高くなっているが、建築資材の高騰などが理由なのか。  
**教育企画課長** 本市以外も含めた工事の発注状況に伴う受注意欲の影響や、建設物価などの上昇が、落札率の上昇につながっていると考えている。

(7月臨時会)  
出羽小学校屋内運動場改築建築工事などの請負契約を締結

教育

くらし

**委員** 県の公立学校入学者選抜Web出願システムを使用する理由はなにか。  
**商業高等学校事務長** 志願者目線で、県の公立学校と同じ流れで出願できるようにしたいことや、県から打診があったことなどから判断した。

(9月定例会)  
商業高等学校の入学者選抜の出願方法の変更にあわせて手数料の徴収方法を変更

**議員から年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されています**

自筆による答礼を除き、議員が選挙区内の人に対して、年賀状などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。

議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されており、違反すると罰せられます。  
有権者が議員へ寄付を求めることも禁止されています。

**市民の皆さまのご理解をお願いします**

**委員** 民間企業の事例を参考に、貸付期間中に奨学生に将来の就労の意向などを確認するための面談を実施する予定はあるのか。  
**建設契約課長** 現時点で予定はないが、毎年4月に修学状況などの報告書の提出を求め

(9月定例会)  
土木・建築系技術者の養成と確保のため、奨学金の貸付制度を創設

まちづくり

**委員** 都道府県ごとに宿泊費の基準額を定めるとのことだが、宿泊費が変動して基準額内で宿泊できない場合はどのように取り扱うのか。  
**職員課長** 原則は基準額内の支給となるが、災害対応などの特別な事情がある場合は、基準額を超えた額を支給することができるようになっている。

(9月定例会)  
市職員へ支給する旅費を実費支給へ見直し

市役所

## 陳 情

9月定例会で審議された請願はありませんでした。陳情は、新たに1件が提出され、継続審査中の1件を審査し、1件を配付しました。委員会での審査結果は以下の通りです。

	件名	提出者	紹介議員	所管委員会	結果
陳情	第4号(7)	継続		厚生	採択
	第6号(7)	新規		総務	配付のみ

## 人事案件

### 人権擁護委員の候補者の推薦に同意

人権擁護委員のうち、1人の任期が令和7年12月31日で終了することに伴い、次の方を選任することに全会一致で同意しました。

橋本 啓治 氏

## 意見書(要旨)

9月定例会で可決された意見書は1件です。関係機関に送付しました。

最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書

平成25年から27年にかけて、生活保護基準のうち生活費の

## 7月臨時会(花笠議会)



7月臨時会を7月25日に開催しました。7月臨時会では、工事請負契約の締結について(山形市立出羽小学校屋内運動場改築建築工事)などの議案2件が上程され、所管する産業文教委員会に付託し審査を行いました。

審査終了後に本会議を再開し、委員長報告を受けた後、採決した結果、全員異議なく同意しました。

また、7月臨時会の開会に先立ち、山形花笠まつりを盛り上げようと、議場でのPR(花笠議会)を行いました。議場内を花笠で飾り付け、議員と市職員が法被を着用して、華やかな中で花笠まつりをPRしました。



▲出席者全員で花笠まつりの成功を祈念

部分に当たる生活扶助基準が平均6・5%、最大10%引き下げられた。

全国29都道府県で1027人の原告がこの引き下げの取り消しを求めて提訴したところ、令和7年6月27日、最高裁判所は、厚生労働大臣の判断に裁量権の範囲の逸脱またはその濫用があり違法であるとして、引き下げを理由とする保護変更決定処分を取り消す判決を言い渡した。

生活保護の利用者の多くは高齢者や障がい・傷病者であ

り、数百万人の生活保護利用者が10年以上にわたって違法な基準のもとで最低限度以下の生活を強いられ、今もなお生存権(憲法第25条)と個人の尊厳(憲法第13条)を侵害され続けている状態にあることから、最高裁判決に基づくすべての生活保護利用者の被害回復を一刻も早く行うことが切実に求められている。

そのため、国に対して、全面解決のために、生活保護費の遡及支給など被害回復の措置を速やかにとること、生活

扶助基準と連動する諸制度への影響調査を行い、被害回復を図ることを求める。

また、被害回復への対応は、対象者の特定や被害額の再算定、通知の作成・発送や支払事務など、自治体での膨大な困難な作業が想定される。生活保護制度の根幹に関わるという判決の趣旨を踏まえ、自治体に過重な負担を強いることなく、国の責任で対応すべきであると要請する。

生活保護費の遡及支給など被害回復の措置を速やかにとること、生活

扶助基準と連動する諸制度への影響調査を行い、被害回復を図ることを求める。

### 議決議案一覧（7月臨時会）

議案番号	件名	議決結果
議第58号 議第59号	工事請負契約の締結について（山形市立出羽小学校屋内運動場改築建築工事） 工事請負契約の締結について（山形市立出羽小学校屋内運動場改築機械設備工事）	同意 (全会一致)

### 議決議案一覧（9月定例会）

議案番号	件名	議決結果
議第60号	令和6年度山形市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全会一致)
議第61号 議第62号	令和6年度山形市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について 令和6年度山形市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決および 認定 (全会一致)
議第63号	令和6年度山形市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決および 認定 (全会一致)
議第64号	令和6年度山形市立病院済生館事業会計決算認定について	認定 (全会一致)
議第65号	令和7年度山形市一般会計補正予算 内容は8ページをご覧ください。	可決 (全会一致)
議第66号	災害用組立トランク型自動ラップ式トイレ等の購入について	同意 (全会一致)
議第67号	水循環型手洗いスタンドの購入について	同意 (全会一致)
議第68号	山形市建設技師養成奨学金貸付条例の設定について 土木・建築系技術者の養成と確保を図るため、奨学金の貸付制度を創設するものです。	可決 (全会一致)
議第69号	山形市一般職の職員等の旅費に関する条例等の一部改正について 国家公務員の旅費制度が改正されたことなどから、市職員などに支給する旅費の見直しを行うものです。	可決 (全会一致)
議第70号	山形市議会議員及び山形市長の選挙における選挙運動に要する費用の公費負担に関する条例の一部改正について 公職選挙法施行令の改正にあわせて、市議会議員や市長の選挙での選挙運動用のビラとポスターの公費負担額を改定するものです。	可決 (全会一致)
議第71号	山形市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について 粗大ごみの処理手数料の支払いにキャッシュレス決済を導入するため、所要の改正を行うものです。	可決 (全会一致)
議第72号	山形市立商業高等学校授業料等徴収条例の一部改正について 商業高等学校の入学者選抜の出願方法の変更にあわせて、入学者選抜手数料の徴収方法を変更するものです。	可決 (全会一致)
議第73号	山形市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について 大字十文字、大字大森、大字漆山の各一部の区域と名称の変更に伴い、消防署の管轄区域の規定を整備するものです。	可決 (全会一致)
議第74号	山形市水道給水条例の一部改正について 大字十文字、大字大森、大字漆山の各一部の区域と名称の変更に伴い、給水区域の規定を整備するものです。	可決 (全会一致)
議第75号 議第76号	山形市上下水道企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について 山形市病院事業企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について 地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、規定を整備するものです。	可決 (全会一致)
議会案番号	件名	議決結果
議会案 第6号	最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書の提出について 内容は10ページの「意見書（要旨）」をご覧ください。	可決 (全会一致)

# 市政のことが聞きたい

一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針に対して、市長や担当する各部長などに質問することです。9月定例会では、9月9日と10日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



たかはし  
高橋

きみお  
公夫 (令 政 会)

## 避難所に「快適トイレ」の整備を

Q 避難生活での精神的負担などが原因の災害関連死を防ぐため、簡易トイレの配置などの避難所の環境整備にどの

A ように取り組んでいくのか。  
令和7年度に避難所等環境整備計画を策定し、不足する資機材の計画的な確保に向けて取り組んでいくとともに、

災害関連死ゼロに向けて改善を進めていく。

Q 災害時の避難所環境の向上と建設現場の労働環境の改善のため、快適トイレの整備を行う民間事業者へ補助を行ってはどうか。

A 建設現場の仮設トイレの大半はレンタルでの調達品であるため、市と災害協定を締

結しているレンタル事業者と、快適トイレの確保に向けた意見交換を実施していく。

Q フリースクールなどの運営経費への補助や、不登校児童・生徒が安心して過ごせる学校外の居場所の確保に向けた取り組みはどうか。

A 令和7年9月定例会に、フリースクールの利用者を支

援するための補正予算を計上しており、運営団体の意向などを踏まえた効果的な支援を検討していく。また、個々のニーズに応じた学校外の多様な居場所づくりを、今後も調査研究していく。

Q 総務省消防庁のモデル事業を活用し、消防団員を対象としたドローン操縦者養成研

## 一般質問をインターネットで簡単視聴！

令和7年9月定例会の一般質問の様子は、「山形市議会インターネット議会中継」サイトに配信しています。

インターネット配信では、各議員の一般質問の内容全てをご覧いただくことができます。

また、生中継での配信も行っておりますので、次回の令和7年12月定例会開催時には、ぜひご利用ください。



▲山形市議会議会中継

山形市議会 中継 で 検索



\* 快適トイレ…建設現場などで男女ともに快適に使用できるように、洋式便座や水洗機能、照明などを標準仕様とした仮設トイレ。



▲小学校の統合の検討を



### みんなで考える 地域の安心とつながり

鈴木 すすむ

すすむ (新翔会)

修を行ってはどうか。  
A ドローンの導入や運用は、大規模な災害時での活用や消防団への加入促進などにも効果的であることから、消防団と活用を検討していく。  
Q 消防関連施設や新設する市の施設などに、消防団をPRするデザインの自動販売機を設置し、売上げの一部を

消防団の装備の購入費に充てることで、消防団の支援と認知度向上を図ってはどうか。  
A 入団促進や装備の充実につながる手法の一つと考えており、民間事業者からの協力を得た消防団の認知度向上手法と、消防団への資金面での支援手法などを検討していく。  
Q 冬季の観光資源として啓

翁桜の見学ツアーを実施するなど、インバウンド向けのプロモーションやツアー造成を行うってはどうか。  
A 旅行会社と連携したツアーの造成など、観光資源としての活用も見据えて取り組んでいく。また、啓翁桜を取り入れた体験メニューの実施は、山形市グリーンツーリズム振興協議会で地域団体など

と検討していく。  
Q 蔵王駅の機能強化や利便性向上などのため、西口や東西自由通路の整備をJR東日本に働きかけてはどうか。  
A JR東日本をはじめとする関係機関との意見交換を継続するとともに、地区からの要望も踏まえて、実現の可能性を探っていく。



▶目隠しや洗面台なども備えた快適トイレ

移動の需要が高く、分析やモデル事業の結果、今後の説明会での意見などを踏まえて、運行方法を検討していく。  
Q 学校の体育館での避難生活は気候の影響を受けやすいため、教室などの利用は学校の個別判断ではなく、市が統一的に判断することにしてはどうか。

とに指導内容が定められており、水泳授業は必要と考えているが、民間施設の活用も含めた水泳授業の在り方を引き続き検討していく。  
Q 市内中心部の小学校では児童数の減少が顕著となっているが、今後の施設整備に併せた学校統合や通学区域の見直しは検討していくのか。

食への正しい理解と判断力を養えるように努めていく。  
Q 河川の敷がクマの移動経路となっている可能性が高いため、河川管理者である国や県と早急に連携し、対策を推進すべきではないか。  
A 県に河川の敷の刈り払いを緊急要望しているほか、河川一斉清掃や河川パトロールの強化など、効果的な取り組みを実施していく。

Q 地域共生社会の実現を推進する認知症施策推進計画の策定に向けた状況はどうか。  
A 認知症の当事者の声を聞きながら、当事者と家族の視点を尊重した計画とする予定であり、策定過程も含めた検討を進めている。

Q 学校の体育館での避難生活は気候の影響を受けやすいため、教室などの利用は学校の個別判断ではなく、市が統一的に判断することにしてはどうか。  
A 避難者の安心安全の確保に有効であるため、令和7年度の避難所等環境整備計画の策定と併せて検討していく。

Q 市内中心部の小学校では児童数の減少が顕著となっているが、今後の施設整備に併せた学校統合や通学区域の見直しは検討していくのか。  
A 地域との協働のもとで最善の教育環境を提供するため、現時点では学校配置の維持を基本的な方向性としている。

Q 身体障がい者や高齢者が市有施設のすべての出入り口を利用できるように、手すりの設置やスロープ形状への改修などを行ってはどうか。  
A 市有施設安全点検の項目にバリアフリーの観点を追加し、施設の安全性と利便性の確保に努めていく。

Q 令和7年3月に地域住民を対象に実施した(仮称)北くるりんの利用意向調査アンケートの結果はどうか。  
A 1502世帯からの回答のうち、約6割が利用に関心があった。また、馬見ヶ崎地区周辺のスーパーや病院への

Q 岩手県滝沢市では、小中一貫で水泳指導の見直しを行い、救命措置の学習に重点を置く取り組みを進めている。本市でも水泳授業の在り方を見直しはどうか。  
A 学習指導要領上、学年ご

Q 給食は、成長期の児童・生徒の栄養管理面を考慮した、十分な内容になっているのか。  
A 栄養素が強化された食品の使用や残食を減らすための食料選定を行っており、栄養指導などを継続することで、

## 高齢者の移動支援・運転免許証返納促進策の拡充を！



井上 和行（新 翔 会）

**Q** 運転免許証自主返納者へのタフシー券の交付は、一括での交付と、少額での継続交付の選択制としてはどうか。

**A** 令和7年度交付分から使用期限を延長したため、効果を確認し、さらなる有効活用に向けた課題を検証していく。

**Q** 認知症高齢者が原因となる交通事故が社会問題化しているため、本市が保険料を負担する事故補償保険制度を導入してはどうか。

**A** 当事者団体や関係機関の意見を聞きながら他市の事例も参考に検討していく。



▲持続可能な公共インフラの整備を

## 若者に身近な施策でまちの魅力を高めよう



高橋 康輔（未来やまがた）

ではどうか。

**A** 他市の事例を参考に、学校と地域社会が連携した、子どもが安らぐ居場所づくりを調査研究していく。

**Q** 業務体験型の不登校支援を実施し、図書館での仕事体験を出席扱いにするなど、多様な居場所づくりに取り組ん

**Q** 夏季に小・中学校体育館が避難所となった場合の環境改善対策と冷房設備の整備計画の検討状況はどうか。

**A** より早期に空調設備を整備できるように検討するとともに、7年度に策定する避難所等環境整備計画の中で、熱中症予防のための備品の拡充などを検討していく。

**Q** 障がい者の避難行動の迅速化を図るため、福祉避難所に直接避難できる仕組みを整備してはどうか。

**A** 新たな福祉避難所の設置に向けて、特別支援学校などとの協議を進めるとともに、障がい特性などに応じた受け入れ体制を構築していく。

**Q** FIS女子スキージャンプワールドカップ蔵王大会の

**Q** 本に触れる機会の創出や外出支援のため、移動図書館を導入してはどうか。

**A** 本のひろばの開設や電子書籍サービスの導入に向けた準備などを継続し、サービスの充実を図るとともに、市民ニーズの把握に努めていく。

**Q** 町内会がSNSなどを活用して情報発信できるように、

費用対効果などを検証し、運営の在り方を議論すべきではないか。

**A** 幅広く意見を聞きながら慎重に検討していく。

**Q** 小学校のスキー教室実施に伴う保護者負担の軽減を図るとともに、指導体制の整備など、高学年でも実施できる環境の整備を行ってはどうか。

**A** スキー教室への支援を継続しながら、各学校への補助額の増額や環境整備を研究していく。

**Q** 県と市が共同で整備を進めている屋内スケートリンクも含めた新スポーツ施設の協議状況はどうか。

**A** 7年度は検討会議を2回開催しており、県体育館・武道館の利用者がしっかりと利

支援を行ってはどうか。

**A** スマホ講座の案内や、操作説明などを行っており、希望に応じた必要な支援に取り組んでいく。

**Q** 東京都豊島区の子どもレターを参考に、子どもの意見を市政に反映させるための取り組みを行ってはどうか。

**A** 山形市こども計画では、

用できる施設になるように、県と協議を行っている。

**Q** 地域建設業の健全な維持・育成や、持続可能な公共インフラの整備・維持管理に向けて、建設関連予算を確保することが重要ではないか。

**A** 建設関連予算を含め、幅広い分野への物価高騰の影響に対応しながら、持続可能な行政運営の推進に向けて、トータルでバランスの取れた予算編成に努めていく。

**Q** 米の安定供給の確保や生産者の持続的な営農支援のため、どのような取り組みを検討しているのか。

**A** スマート農業の中山間地域での活用の実証や農業機械導入への支援策などの拡充を検討していく。

子どもや若者の意見を聞いて施策に反映させるための仕組みを構築することとしており、先進自治体の取り組みも研究しながら検討していく。

**Q** クーリングシェルターに指定している市有施設に、マイボトル用の給水器を設置してはどうか。

**A** 熱中症予防とプラスチック

※1 子どもレター…令和5年6月から東京都豊島区が実施している、子どもからの区政への意見を受け付ける制度。  
 ※2 クーリングシェルター…市町村が指定する、熱中症を防ぐために一時的に涼むことができる避難場所のこと。



▲文化の面からも最上家と山形城のPRを



小野 仁 (緑 政会)

## 「最上踊り」を山形城で もう一度！

ク削減に効果的であるため、導入事例を調査研究していく。

**Q** ゼロカーボンシティ実現のため、太陽光発電や蓄電池の普及に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**A** 太陽光発電設備などの導入や省エネ高効率設備への更新などに支援を行っており、脱炭素化と災害に強いまちづ

くりを進めていく。

**Q** 小・中学校の防犯設備の整備状況と、教職員の不審者対応の訓練状況はどうか。

**A** 令和7年度に全小・中学校への防犯カメラとオートロックの設置が完了する予定である。また、各学校で作成した危機管理マニュアルに沿って訓練を実施しており、

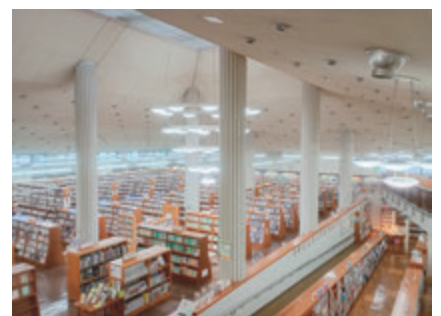
関係機関と連携した効果的な防犯体制の確立に努めていく。

**Q** 消防団員の確保のため、学生を対象とした機能別消防団を設置するなど、制度を拡充してはどうか。

**A** 学生の消防団入団は課題もあるが、有資格者が活躍できる機能別消防団の構築を、消防団と検討していく。

**Q** 労働条件をめぐるトラブル防止や人材の定着などを図るため、社会人になる前に労働法の知識を身に付けられるように、高校や大学への出前講座を実施してはどうか。

**A** 労働局や県の取り組みを周知するとともに、学校や関係団体との連携を図りながら、若者が安心して社会に踏み出せるように支援していく。



▲市民の知の拠点 市立図書館

**Q** また、今後、施設全体の設備更新が必要となった際には、補助を拡充してはどうか。

**A** 文化創造都市を推進する上で重要な拠点と考えており、これまでも運営費の補助などを行っているが、協力の在り方を協議していきたい。

を進めている小中学校施設整備方針などで、改築などの考え方を整理していく。

**Q** 公正性・透明性の確保などのため、プロポーザル方式での事業者選定の手法を見直すべきではないか。

**A** 6年度に公民連携室を設置し、ルールなどを整理して契約手続きへ反映させている。他自治体の例を参考にしながら、今後も公正性・透明性の確保に努めていく。

**Q** ひきこもり支援のための条例制定に向けた進展状況はどうか。

**A** 支援機関などと構成するひきこもり支援検討会を開催し、令和7年度内の条例制定を目指して作業を進めている。

**Q** さまざまな困難を抱える

**Q** 県と連携し、カード型の障がい者手帳を導入してはどうか。

**A** 当事者の意見を聞くとともに、他自治体の取り組みも参考にしながら、県と連携して検討していく。

**Q** 難病患者や家族を支援する団体が充実した活動を行えるように、補助を行ってはどうか。

**A** 県と情報を共有しながら必要な対応を検討し、患者本人や家族が社会から孤立することなく安心して暮らせる環境づくりに努めていく。

**Q** S U K S K生活を提唱し、禁煙を推奨する一方で、賑わい創出のためのイベントなどに喫煙ブースを設置しているが、整合性は取れているのか。

**A** 分煙施設周辺での注意喚起など、市民や来訪者が安心して快適に過ごせる環境づくりを進めていく。

**Q** 山形美術館では、民間企業から寄託されていた絵画を返却することとなったが、市はどのように対応していくのか。

**Q** 最上踊りが伝承されている滋賀県東近江市との相互交流を行ってはどうか。

**A** 最上踊り保存会の活動状況を把握し、意向を確認しながら、交流の在り方などを研究していく。

**Q** ボウリング競技は年代や性別を問わず楽しめる生涯スポーツであるため、競技場の運営へ支援を行ってはどうか。

**A** ボウリング競技以外にも含め、大会開催団体などに支援を行っており、より良い支援のために調査研究していく。

※ 最上踊り…最上家が滅封され、滋賀県東近江市の大森に陣屋を構えた際に、村人が慰めるために踊ったことが始まりと伝わる伝統芸能。平成17年に、15年目を迎えた霞城観桜会の記念イベントとして、最上踊りが披露された。



**稼げる自治体・収益化  
できるまちづくりを**

仁藤 俊 (新翔会)

んでいく。

**Q** 蔵王の魅力を最大限に活かし、持続可能な通年性のある観光地にするため、どのような戦略を講じていくのか。

**A** 蔵王のさまざまな観光コンテンツを道の駅やまがた蔵王や山形駅の観光案内所で周知するなど、さらなる誘客推進につなげていく。

**Q** 大手総合リゾート運営会社での運営が見込まれている蔵王温泉の宿泊施設と、どのように関わり、蔵王の活性化を図っていくのか。

**A** 蔵王温泉観光協会などと連携し、相乗効果を生み出せるように、可能な範囲で連携した取り組みを行っていく。

**Q** 義光祭を復活し、大河ド

ラマ誘致に向けた機運を高めてはどうか。また、誘致に向けた状況はどうか。

**A** 義光祭の復活は、関係団体などの意見を聞きながら研究していく。また、大河ドラマ誘致の調査検討を行っており、最上義光を大河ドラマにする会と情報を共有しながら活動に協力していく。

**Q** 旧千歳館エリア活性化計画の今後の展開と、粋七エリアとの関連性や回遊性をどのように考えているのか。

**A** 古民家カフェや分散型ホテルなどの機能を創出し、日中も楽しめるまちを目指すとともに、粋七エリア整備事業などと連携して、一体となって魅力向上につなげていく。

**Q** 粋七エリア整備事業など

を進める中で、諏訪町七日町線沿いの旧料亭の桜や庭を、どのようにまちづくりに活かしていくのか。

**A** 桜などの景観資源を公共空間に融合させることで、さらなる魅力を創出していく。

**Q** ほっとなる広場公園のPark・PFIでの再整備を検討し、移動式店舗などを導入できるようにしてはどうか。

**A** 公園の新たな活用などを検討しており、近隣商店街の意見を聞きながら移動式店舗の導入も検討していく。

**Q** 騒音とファン被害を防ぐため、鷹匠を招いたクラス対策を早急に実施してはどうか。

**A** 樹木剪定やごみの適正管理など、生息環境の改善とともに総合的に取り組んでいく。

トイレの洋式化を早期に進めるべきではないか。

**A** 幅広い層が楽しめる持続可能な施設への転換を目指し、基本計画案の取りまとめ作業を行っている。本館トイレの洋式化など、利用者のニーズを捉えた改修を行う予定であり、基本計画策定の進展を踏まえて、早期の改修が可能か検討していく。



▲最上義光を大河ドラマに！

**Q** インバウンド旅行者が増える中、観光業界の収益化に向けた今後の方向性はどうか。

**A** 海外への観光プロモーションの推進や、観光客の利便性や満足度を高めることで、観光産業が基幹産業となるように努めていく。

**Q** 山寺を訪れた観光客が市内のほかの地域も周遊するための仕組みづくりを、どのように考えているのか。

**A** プロモーションやコンテンツの充実などを図るとともに、蔵王や中心市街地も周遊できる仕組みづくりに取り組



**安全・安心な環境を整備し  
多様性を尊重する社会の構築を**

武田 新世 (山形市議会公明党)

要ではないか。

**Q** 適切に管理されずに周辺地域の環境に悪影響を与える空き家の発生を抑制するとともに、適切な管理の促進が必

**A** 適正管理依頼文書の送付のほか、民間事業者と連携した空き家相談会の実施など、所有者の意識と理解の向上を

図っている。町内会や民間事業者と連携しながら、空き家の適正管理に努めていく。

**Q** 児童や生徒が安全・安心に学べる環境の整備と、避難所としての生活環境向上のため、学校体育館に冷房設備を早期に導入すべきではないか。

**A** 令和15年度までに全小・中学校へ計画的に整備するこ

ととしているが、ほかの大規模事業との兼ね合いなどを考慮し、先行自治体の取り組みを調査研究しながら、国の動向も注視して早期に整備できるように検討していく。

**Q** 少年自然の家は児童・生徒に生涯学習の機会を提供する重要な拠点施設であるため、快適性や衛生面などを考慮し、

快適性や衛生面などを考慮し、

※ 義光祭…大正2年(1913年)に最上義光没後300年を記念して開催され、名称は変わりながらも、昭和37年まで、主に仮装行列などが行われる夏祭りとして実施されていた。

▶霞城公園で開催される  
山形大花火大会



あきの  
浅野  
弥史(新翔会)  
県設置の屋内型スケート  
施設の必要性は十分に  
議論されていますか？

Q 国道13号から流通団地への進入口は、逆走などの恐れがあるため、看板を設置して注意喚起するなど、道路環境を整備してはどうか。

A 分かりやすい場所へ道路標識を移設するなどの交通規制を警察署に要望するとともに、国道の道路管理者と協議しながら、看板設置などの事故防止策を検討していく。

Q 日本一の観光案内所に、アクセシブル・ツーリズム対応窓口を設置してはどうか。

A 現在策定中の基本計画でも、バリアフリーやユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインの考えを基にした多様な利用者への考慮を留意点の一つとしており、より多くの人が快適に利用できるサービスの充実を目指していく。



▲外国人や聴覚障がい者にも配慮した日本一の観光案内所を！

Q 霞城公園の整備が進んでいるが、今後も霞城公園で花火大会を開催できるのか。

A 霞城公園での打ち上げが継続できるように、関係団体と協議しながら整備していく。

Q 県が数十億円の整備費をかけて市内に屋内型スケート施設を建設する予定だが、本市の考えはどうか。

A 多機能性を有する屋内スケート施設を県が整備することと、令和6年10月に県と合意している。まだ充足されていない市内の屋内多目的施設は、全体的な施設の配置や稼働状況などを調査分析した上で整備の検討を行っていく。

Q 利用世帯数の減少や高齢化が進む中、簡易水道の今後の維持管理や更新をどのように考えているのか。

A 水道組合ごとに条件が異なるため、個別に状況を聞きながら、検討していく。

Q 改正鳥獣保護管理法が施行され、市町村長の判断で人の日常生活圏での危険鳥獣の銃猟が可能になったが、どのように取り組んでいくのか。

A 警察やアーバンベア等対応チームなどと連携し、銃猟実施の判断や役割分担を平時から確認するとともに、実際の銃猟時の確実な連携のために、訓練や研修を重ねていく。

Q 部活動地域展開に取り組み上で、地域クラブへの学校施設の開放は行うのか。

A これまで部活動で使用していた時間帯は、市が認定する地域クラブが屋内・屋外運動場を優先的に使用できる方向で検討を進めている。

Q コミュニティセンターなどの市有施設に、リチウムイオン電池の回収ボックスを設置してはどうか。

A より身近な場所で利用できるように、コミュニティセンターなどの市有施設への設置の拡充を検討していく。

Q 総合評価落札方式での工事入札を増やしてはどうか。

A 建設業界と意見交換する

Q 障がい者等日常生活用具給付等事業で給付対象となっている特殊マットや移動用リフトの補助基準額を見直してはどうか。

A 利用者のニーズを踏まえて、他市の状況を参考にしながら見直しを検討していく。

Q 診療報酬が上がらない状況では済生館の大幅な増益は期待できない上、建設費に見合う国からの補助も見込めないが、建て替えに向けた今後の見直しはどうか。

A 基本設計を2段階に分割し、前編業務として、病院設計の豊富なノウハウを持つ事業者のアイデアを取り入れながら、必要な機能を満たしつつ可能な限りコスト削減を図るための方策を、十分に検討していく。

※1 アクセシブル・ツーリズム…年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが旅行を楽しむことを目指す取り組みのこと。  
※2 二地域居住…都市部と地方部に2つの拠点をもち、定期的に地方で過ごし、仕事をするライフスタイルのこと。  
※3 SAF…廃食油、廃プラスチックなどの循環型の原料から製造される航空燃料。Sustainable Aviation Fuelの略称。  
※4 総合評価落札方式…入札価格以外にも、企業の施工実績や地域貢献などの要素を総合的に評価し、落札者を決定する方式。

### 中心市街地へ自動運転バスを導入 ～ GIFU HEART BUS ～



#### 総務（2班）

岐阜市では、バスの運転手不足解消に向けて令和元年度から自動運転事業を進め、令和5年11月に、中心市街地では全国初となる自動運転バスを導入しました。

市内の中心市街地や岐阜公園などの観光地を周遊する自動運転バスは、現在はレベル2（オペレーターが同乗し、状況に応じて手動操作）で運行されており、継続運行期間である5年間で段階的にインフラ整備を進め、レベル4（特定条件下で完全自動運転）での運行を目指しています。7年7月には乗車人数7万人を達成し、持続可能な公共交通とするため、路上駐車や車両の開発高度化などにも取り組んでいました。

### 佐賀市のあらゆるサービスを1つのアプリに ～佐賀市公式スーパーアプリ～



#### 総務（1班）

令和5年6月にリリースされた佐賀市公式スーパーアプリには、本人確認などに活用することができるデジタル市民証のほか、市内34校で運用している学校出欠連絡ミニアプリ、避難所開設状況・浸水箇所のリアルタイム表示機能などを持つ災害・防災ミニアプリなど、7年7月時点で25のミニアプリが搭載されています。

粗大ごみ収集予約システムやタクシニアプリとの連携など、市民ニーズに応じた柔軟なバージョンアップを行っており、市民約22万人に対して、7年4月には約7万5,000ダウンロードを突破し、月平均利用回数は約8万回と、多くの市民に活用されていました。

委員会名	日程	調査地	調査項目
総務委員会 (1班)	7月22日(火) ～24日(木)	福岡県福岡市	福岡城潮見櫓復元について
		山口県下関市	消防団員活動力強化事業について
		佐賀県佐賀市	佐賀市公式スーパーアプリについて
総務委員会 (2班)	7月29日(火) ～31日(木)	静岡県掛川市	高校生ドローン防災航空隊について
		岐阜県岐阜市	自動運転バスの実証実験について
		愛知県豊田市	電子契約サービス「GMOサイン」について
厚生委員会 (1班)	7月22日(火) ～24日(木)	兵庫県川西市	川西市立総合医療センターの整備について
		徳島県徳島市	保育人材確保の取り組みについて
		兵庫県明石市	0歳児見守り訪問おむつ定期便に関する事業について
厚生委員会 (2班)	7月29日(火) ～31日(木)	広島県東広島市	重層的支援体制整備事業について
		広島県呉市	データヘルスによる健康寿命延伸の取り組みについて
		熊本県熊本市	熊本市こども発達支援センターについて

7年度に実施した常任委員会視察の内容をお知らせします。

## 常任委員会視察報告

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。視察の成果は、委員会審査の中で、本市の抱える課題の解決や市への提言に活かされます。令和

### 重層的支援体制を整備し、 やさしい地域 みんなと共に 生きる社会へ



#### 厚生（2班）

東広島市では、目指すまちの姿の一つとして地域共生社会の実現を掲げ、地域住民や地域の多様な主体と共に地域をつくっていくことを目指しています。

その中で実施している重層的支援体制整備事業の具体例として、包括的相談支援事業、多機関協働事業などがあり、これらの事業に携わる多機関の専門職がつながるためのコアネットワーク会議を開催しています。この会議を社会福祉法上の支援会議に位置付けることで個人情報共有が可能となり、専門職の連携のみならず、民生委員などの地域の多様な主体との連携協働を進めていました。

### 地域医療を守るため、安定的で継続的に良質な医療を提供 ～川西市立総合医療センター～



#### 厚生（1班）

以前の市立川西病院は赤字経営が続いており、市からの支援継続が困難になったため、川西市は医療法人協和会共立病院との統合を前提に川西市立総合医療センターを設置し、指定管理者制度を導入しました。

指定管理者からの提案で、新病院の病室は全個室とし、病棟廊下をクロス型にしてその交点にスタッフステーションを配置することで、患者搬送や物流動線の効率化を図っていました。

また、救急搬送の市内完結率向上を図るため、平時から救急不対応案件の分析や、看護部を交えたベッドコントロールの工夫にも取り組んでいました。

**本人の希望を尊重した、きめ細やかな対応を行う学びの場  
～三豊市立高瀬中学校夜間学級～**



**産業文教（2班）**

三豊市では、不登校などの事情で十分な教育を受けられずに中学校を卒業した人や、言葉の壁から思うように学習ができなかった外国籍の人などが学び直しをすることができる場として、また、不登校の生徒も通うことができる学びの多様化学校として、令和4年4月に高瀬中学校夜間学級を開設しました。

生徒一人一人の学習レベルに適した学びを提供するため、基礎的内容を学ぶコースや進学・就職を目指すコースなどを設定し、不登校の生徒と学齢経過者が共に学ぶことで、相互の違いを知り、受け止めることが自身の変容につながるなど、特色のある学びの場となっていました。

**世界に誇れるリゾート地を目指し、観光振興のための財源を確保  
～全国で唯一の定率制宿泊税～**



**産業文教（1班）**

ニセコエリアのメインリゾート地が所在する倶知安町では、ロードヒーティングや公共駐車場の整備に必要な財源確保のため、令和元年11月から、全国唯一の定率制の宿泊税を導入しています。

税率は宿泊料金の2%であり、他自治体で導入している定額制とは異なり、昨今の物価や宿泊価格の高騰に応じた税収確保が可能となり、令和6年度の税収は約5億6,800万円となりました。

税収は、リゾート地区間のシャトルバスの運行支援や、ロードヒーティング電気料などに充てられており、リゾート地としての質の向上、魅力の向上に活用されていました。

委員会名	日程	調査地	調査項目
産業文教委員会 (1班)	10月8日(水) ～10日(金)	北海道札幌市	公立夜間中学校の取り組みについて
		北海道倶知安町	宿泊税の取り組みについて
		北海道ニセコ町	宿泊税の取り組みについて スキマバイトの活用について
産業文教委員会 (2班)	8月18日(月) ～20日(水)	徳島県徳島市	阿波踊りを活用した観光振興と賑わい創出について
		香川県高松市	高松市中央卸売市場青果棟再整備について
		香川県三豊市	公立夜間中学校と不登校対策について
環境建設委員会 (1班)	7月22日(火) ～24日(木)	北海道札幌市	ウォークアブルシティについて
		北海道岩見沢市	除雪について
		北海道札幌市	空き家対策について
環境建設委員会 (2班)	7月30日(水) ～8月1日(金)	兵庫県神戸市	ローコードツールを活用したスマート応急給水の取り組みについて
		岡山県倉敷市	倉敷市景観計画によるまちづくりについて
		岡山県岡山市	太陽光発電設備等共同購入事業について

**効率的な情報共有で、  
災害時の応急給水業務の負担を軽減**



**環境建設（2班）**

神戸市では、災害時の応急給水業務の効率化のため、応急給水での情報共有・情報処理の効率化に取り組んでいます。これまでは紙の様式を手渡しして行っていた作業指示や作業報告を、いつでもどこからでも利用できる情報共有システムを使用して行うことで、情報の入力や確認を効率化し、受援側と応援側の双方の負担を軽減することができるようにしています。

また、データを自動で集約し、拠点ごとの給水量をグラフ化することなども可能となり、給水車の差配の判断に活用できるなど、効率的な応急給水につながる仕組みとなっていました。

**空き家の適切な管理に向けて  
発生を抑制し、流通・活用を促進**



**環境建設（1班）**

札幌市では、令和5年の空き家件数が15万5,000戸を超えており、危険な空き家の除却推進や、民間と連携した空き家対策に取り組んでいます。

危険な空き家の除却への補助制度として、所有者などが除却を行い、除却後の土地を町内会などに5年以上無償貸与する場合、通常の除却と比較して補助率や補助上限を高めているほか、「札幌市空き家と住まいのハンドブック」や、ウェブサイトで解体費や土地売却価格の概算額を把握できる「札幌市版すまいの終活ナビ」を活用してもらうことで、空き家の処分や管理の意思決定を支援する取り組みも行っていました。

# 議会報告会 & 議場演奏会を開催します

9月・12月定例会での審議内容や議決結果、各常任委員会のトピックスなどを、市議会議員が市民の皆さまへ分かりやすくお伝える「議会報告会」と、市議会をより身近に感じていただくことを目的に議場で山形交響楽団の演奏をお楽しみいただく「議場演奏会」を併せて開催します。

※「議会報告会」はオンライン（Zoom）でもご参加いただけますが、「議場演奏会」は会場参加のみとなります。また、議場演奏会のみ参加はできませんので、ご了承ください。

期 日：令和8年1月30日（金） **議会報告会** 午後1時～2時15分  
（午後0時30分より受付）  
**議場演奏会** 午後2時30分～3時30分



場 所：議場（市議会棟3階）  
対 象：山形市内在住者90人程度（応募多数の場合は抽選となります）  
申し込み：申し込みフォームから応募またはハガキに以下の必要事項を記入してご応募ください。

令和7年12月4日（木）必着。締め切り後、抽選結果と当日の案内を送付します。

※お電話での申し込みは受け付けておりませんのでご注意ください。



**【必要事項】** ①氏名 ②郵便番号・住所 ③電話番号（日中連絡のとれるもの）  
④配慮が必要な事項（車いす利用など）  
（複数人参加の場合は申込者全員の氏名、郵便番号・住所、要配慮事項を明記）  
※オンライン参加希望の場合はその旨記載してください。

**【申し込み先】** 申し込みフォーム：右の二次元コードより  
ハガキ：〒990-8540 山形市旅籠町2丁目3-25  
山形市議会事務局議事課まで



**【お問い合わせ】** ☎023 (642) 8404（直通）

▲議会報告会 & 議場演奏会  
申し込みフォーム

## 山形市の友好都市である台南市へ 救援金を贈呈しました

山形市議会では、令和7年7月に発生した台風4号で被災した台南市を支援するため、救援金として33万円を贈呈し、黄偉哲 台南市長から感謝状をいただきました。

被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げますとともに、台南市の一日も早い復興を祈念しております。



▲令和7年9月14日に開催された「台南市代表団歓迎会」で台南市長へ救援金を贈呈

## 12月定例会の日程 （予定）

11月27日（木）  
～12月12日（金）

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

なお、12月定例会で審査される請願・陳情の締め切りは、11月21日（金）です。

☎023 (642) 8404

## 編集後記

あの猛暑の連続はどこへ。早いもので11月、霜月を迎えました。

深まりゆく秋とともに、日本一の芋煮会フェスティバル、山形まるごとマラソン、やまがた秋の芸術祭、そして今年、山形国際ドキュメンタリー映画祭と、皆さまもお楽しみいただけたことと存じます。

さて、今号では、9月定例会での質疑、議論の内容を中心にご紹介いたしました。

広報広聴委員会では、皆さまとの結びつきを大事にしながら、ご意見、ご要望をどのように頂戴できるかに腐心しており、そのための意見交換会と議会報告会を準備中です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

広報広聴委員 遠藤 吉久

## スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットなどで本会議や予算委員会などの模様（生中継・録画）が視聴できます。お気軽にご活用ください。



▲山形市議会  
中継

山形市議会 中継 で 検索